

平成 28 年 5 月 1 日

「道徳性・向社会性」分科会 平成 27 年度活動報告

「道徳性・向社会性」分科会代表

横浜市立大学 長谷川真里

活動報告

日本発達心理学会第 27 回大会にて分科会企画ラウンドテーブル「乳児の道徳性発達研究の最前線」を開催した。

日時：平成 28 年 4 月 29 日（祝） 会場：北海道大学

近年、乳児を対象とした道徳性発達研究が増加している。そこで、今年度は、精力的に研究を行っている若手研究者から、乳児を対象とした研究方法の概説、およびご自身の研究成果を報告いただいた。指定討論者には、幼児と児童を対象に、道徳性に関わる多くの実証研究を行っている研究者をおよびし、乳児の道徳性発達研究の今後の発展の可能性について講演いただいた。フロアからも多くの質問や意見をいただき、充実した RT であった。

日本において乳児を対象とした道徳性発達研究は乏しいが、研究の発展が期待できる会となった。

話題提供および指定討論は、以下の通りであった（敬称略、27 年 3 月時点での所属）。

話題提供：乳児期における道徳・向社会性 鹿子木 康弘（京都大学大学院教育学研究科）

指定討論：赤ちゃん研究が教えてくれる善悪の起源とは？ 林 創（神戸大学大学院人間発達環境学研究科）

司会：長谷川真里（横浜市立大学）